



「挨拶で心が通う本郷台」

～挨拶のできる学校を目指して～

「挨拶で心が通う本郷台」は、先日、生徒会朝礼で、生活委員会からみなさんに発表した挨拶標語です。どんな場面でも、一つ一つの挨拶をきちんと丁寧に行うことで、自分も相手も互いに認め合うことができる。挨拶で気持ち(心)が通じ合い、絆が深められる学校にしていきたいという思いが込められています。

もともと「挨拶」は仏教語で、問答をかけ合って相手の悟りの深淺をはかることを意味しています。問答とは、お坊さんが悟りに近づくためにする修行で、投げかける問いが「挨」で、返す答えが「拶」と言われています。調べると、「挨」＝心を開く、近づく、「拶」＝迫る、擦り寄るという意味があります。つまり、互いに心を開いて、相手の心に近付いていく行為が挨拶ということになります。

全校朝礼で、私からみなさんに挨拶について何度か話をしました。授業のはじめと終わり、校舎内で先生・保護者・来校者とすれちがったとき、放課後の活動のとき、さまざまな場面で、生徒も先生も互いに気持ちのよい挨拶を交わすことができる学校を目指そうと伝えてきました。さて、今どうでしょうか。しっかり挨拶していますか。

二学期後半は、朝、元気よく挨拶する一方、校舎内では少し元気がなかったり、下を向いてしまう生徒もいました。しかし、今月は元気いっぱい挨拶する生徒が増えたような気がします。日によって気持ちが沈んでいるときは、大丈夫かなという面もありますが、挨拶は、互いに心を開いて擦り寄っていくことができる行為であることを知ってほしいです。今後も、いつでもどこでもどんな場面でも挨拶が自然とできる台中生になってほしいと思います。

◇生活委員会の生徒に聞きました

～1年間、朝の挨拶活動を通して感じたこと～

- ・昨年と比べて、ほとんどの生徒が挨拶を返してくれて、学校内でも挨拶を交わすようになりました。生活委員になって挨拶に対する考え方が変わり、誰にでも積極的に挨拶するようになりました。
- ・朝以外も学校で積極的に挨拶ができるようになった。挨拶をお互いにし合うと、気持ちがよく心が温かくなると思いました。心のこもった挨拶をすると、やまびこのように返ってくるのが嬉しかった。
- ・挨拶をすることで、どこか爽やかな気持ちになれ、気持ちよく一日をスタートすることができ、楽しいと感じた。以前はお辞儀をするだけで声を出してくれなかった人が、三学期になって声を出して挨拶をしてくれるようになったりと挨拶の仕方に変化が見られる人が多くいたのが嬉しかった。



～1年間、朝の挨拶活動を通して感じたこと～

- ・生活委員に入る前は、自ら積極的に挨拶することは少なく、相手が挨拶をしたらそれに返すような形でした。しかし、何も言わずすれ違うのはぎこちないような雰囲気になってしまうということを身に染みて分かりました。これ以降、挨拶は自分から積極的に、もちろん相手に伝わらなくては意味がないので、相手に聞こえる程度の気持ちのこもった挨拶を目標に、朝の挨拶運動や校内ですれ違った先生方にも挨拶をするように心掛けています。
- ・生活委員会になって挨拶当番をするまでは、校門や学校内で誰かとすれ違ってても会釈をするだけが多かったけど、挨拶運動をしてからは挨拶の楽しさや魅力を感じられるようになり、声に出して挨拶をするようになった。
- ・後期から挨拶活動をはじめて、朝早く学校に来るのは、慣れなくて最初は少し大変だったけど、朝登校してくる生徒や友だちが私たちの目を見て、元気よく挨拶をしてくれることが嬉しかったです。また、その経験から、挨拶は自分も相手も良い気持ちになれるものなんだなと思いました。友だちが笑顔で挨拶を返してくれるのが嬉しかったです。
- ・僕は今まで挨拶は大切でないと思っていました。しかし、一年間の挨拶運動を通して、挨拶をしたときに、笑顔で挨拶が返されると、とても嬉しい気持ちになりました。だから、挨拶は雰囲気を良くする大切なものだと感じました。
- ・大きな声で挨拶を返してくれる人たちがいて嬉しかった。生活委員になる前は、自分から挨拶することはあまりなかったけど、少しずつ挨拶をする回数が増えてきた。廊下で他学年に挨拶をする回数が増えたと思う。
- ・一年間の挨拶活動を通して、起床時間が少しずつ早くなり、朝勉強する時間が増えました。大きな声でたくさんの人と挨拶をすることによって、自分に自信がつくようになりました。

～生活委員会の思い（協力してほしいこと）～

- ・校内ですれちがったら、自分から挨拶をする。相手も反射的に挨拶を返すようになり、挨拶が習慣化していくと思う。
- ・生活委員として、朝の門前だけでなく校内でも積極的に挨拶をする。来年一年生が入学してきて、良い雰囲気の学校だと思ってもらえるように、生活委員だけでなく全校生徒も積極的に挨拶ができるように声掛けをしていきたいです。
- ・挨拶が多い学校は雰囲気が良い学校になると思うので、知らない人でもすれ違ったときは必ず挨拶をしましょう。そして、一緒に台中も明るく雰囲気の良い学校にしていきたいです。
- ・生活委員で自主的に挨拶をして全校生徒のお手本になる。クラスで1つずつ挨拶標語を作って挨拶をする意識をもつ。
- ・もっと生徒との挨拶を活発にしていこうと思います。僕たち生活委員会から行動をして、全校生徒のお手本になっていくべきだと思います。
- ・挨拶は言葉で交わすものではあるものの、本質は「心」でするものだということを投げかけ、相手への気持ちをもって明るく笑顔で挨拶をしてほしいと思う。委員一人一人が挨拶をすることを呼びかける立場にあることを自覚し、自分たちから良い挨拶をしていき、良い挨拶が飛び交う雰囲気づくりをすることだと考えています。
- ・挨拶の利点を伝えていきたい。

<保護者のみなさまへ>

東京都教育委員会は、6月・11月・2月を「ふれあい月間」と定め、いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子どもたちの健全育成を目指した取り組みを行っています。本校でも、全校生徒に「心のアンケート」を実施し、気になる生徒への面談とそれに対応した組織的な指導をしています。いじめは未然防止・早期発見が大切です。ふれあい月間中の目標「他人の良いところを見つけて伝えよう」とも関連づけながら、自分や周りの人を大切にする子どもを育てていきたいと思っています。